



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
北海道支部

赤十字 ほっかいどう

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。



赤十字の活動資金のご協力をお願いいたします



9月7日、日赤北海道支部 現地対策本部会議の様子（厚真町総合福祉センター）

特集 北海道胆振東部地震における日本赤十字社北海道支部の活動

目次・・・

北海道胆振東部地震概要	2P	こころのケア活動	5P
発災直後の活動	2P	赤十字ボランティア活動	6P
医療救護活動	4P	数字でみる北海道胆振東部地震での活動	7P

9月6日の動き

4:20	日本赤十字社北海道支部災害救護実施対策本部を設置。
5:00	北海道庁災害対策本部指揮室へ支部連絡調整員を派遣し、情報収集。
5:20	災害医療コーディネーターを旭川赤十字病院へ派遣要請。
7:00	北海道庁の災害対策本部会議へ支部連絡調整員を派遣し情報収集。
8:40	北海道支部先遣隊4名(支部2名・栗山赤十字病院2名)を厚真町・安平町・むかわ町へ派遣。
11:10	毛布350枚、緊急セット24個、安眠セット20個を支部車両に積み、札幌市清田区避難所を巡回。
11:40	厚真町総合福祉センターに日本赤十字社北海道支部現地対策本部設置。
12:45	本社先遣隊として、医療コーディネーターを含む4名が北海道支部に到着。
14:15	北海道支部現地対策本部へ支部1名・本社2名を派遣、毛布500枚、安眠セット500個を配布。
19:30	安平町へ支部2名・旭川赤十字病院2名の各車両で毛布400枚と緊急セット30個を輸送。
23:30	安平町へ支部2名・旭川赤十字病院1名の各車両で緊急セット370個を輸送。



協定を結ぶ海上保安庁の航空機で北海道へ向かう本社先遣隊



厚真町総合福祉センターへ救援物資を配付



札幌市清田区の避難所へ救援物資を配付



現地災害対策本部へ参加する道内赤十字救護班

北海道胆振東部地震 概要

9月6日、3時7分、胆振中東部を震源とする最大震度7を観測する地震が発生しました。地震の影響により大規模停電や断水、交通機能の麻痺、通信の不調など北海道全域が不安に襲われました。日本赤十字社北海道支部では、発災直後より直ちに被害の大きかった厚真町・安平町・むかわ町で赤十字の総力を挙げ災害救護活動を展開、10月12日をもって発災より37日間の活動を終了しました。今回の災害救護活動を含む赤十字活動は、皆さまからお寄せ頂いた活動資金によって実施することができています。日頃からのご支援ご協力に心から感謝申し上げますとともにこのたびの活動についてご報告します。

被害状況

(11月30日現在 北海道危機対策局公表)

死者	41名
負傷者	750名
建物被害	18,415棟
避難者	16,649人(累計)



発災直後の活動

北海道支部では、発災直後より職員が参集し、直ちに情報収集にあたりました。9月6日、4時20分、支部災害救護実施対策本部設置し、北海道庁内に設置された災害対策本部指揮室へ支部連絡調整員を派遣、引き続き情報収集を行いました。また、北海道支部2名・栗山赤十字病院2名からなる先遣隊を被害の大きかった厚真町・安平町・むかわ町へ派遣、現地の被害状況の把握やニーズ調査にあたり、同日11時40分、厚真町総合福祉センター内に支部現地災害対策本部を設置しました。あわせて、情報収集・ニーズ調査の結果をもとに、毛布・安眠セット・緊急セットの救援物資を札幌市清田区・厚真町・安平町・むかわ町の各避難所へ緊急輸送しました。



北海道支部災害救護実施対策本部の様子



厚真町総合福祉センターへ向かう北海道支部先遣隊

2

赤十字の活動は、国や地方自治体からの補助金ではなく、皆さまからの寄付で支えられています

医療救護活動 (救護班: 43班・延べ296人)



現地災害対策本部で救護活動の説明を受ける伊藤支部長(中央)

発災直後より道内10箇所にある赤十字病院に常備している「救護班」(医師・看護師等から編成)を直ちに、現地災害対策本部がある厚真町総合福祉センターへ向け派遣しました。さらに、東北・関東の赤十字病院から救護班の応援を受け、現地で医療救護活動を展開しました。救護班は、厚真町・安平町・むかわ町内の各避難所で巡回診療の実施のほか、エコノミクス症候群を予防するための啓発と弾性ストッキングの配付を行いました。また、厚真町総合福祉センターに開設した24時間体制の救護所で診療を行いました。医療ニーズの減少並びに地元医療機関の診療が再開したことに伴い9月20日をもって救護班による医療救護活動を終了、発災より43班の救護班と13班の日赤災害医療コーディネーターが活動しました。



救護所に診療を受けにきた被災者



避難所の巡回診療を行う救護班(安平町)

救護班派遣施設一覧

支部	施設	支部	施設	支部	施設
北海道	旭川赤十字病院(※)	青森	八戸赤十字病院	栃木	那須赤十字病院(※)
	北見赤十字病院(※)	岩手	盛岡赤十字病院	群馬	前橋赤十字病院(※)
	伊達赤十字病院		仙台赤十字病院	埼玉	さいたま赤十字病院
	釧路赤十字病院(※)	宮城	石巻赤十字病院(※)	埼玉	深谷赤十字病院
	浦河赤十字病院	秋田	秋田赤十字病院		千葉
	栗山赤十字病院	山形	北村山公立病院	東京	武蔵野赤十字病院
	清水赤十字病院(※)		米沢市立病院	神奈川	大森赤十字病院
	置戸赤十字病院	福島	福島赤十字病院		横浜市立みなと赤十字病院
	函館赤十字病院	茨城	水戸赤十字病院	新潟	長岡赤十字病院
				本社	日赤医療センター(※)

(※)は、医療コーディネーターの派遣を含む

こころのケア活動（こころのケア班：29班・延べ87人）

日赤北海道支部では、こころのケア班を編成し、厚真町・安平町・むかわ町の各避難所でこころのケア活動を実施しました。

避難者の方々に接する中で、健康や身近な悩みなどを傾聴するとともにストレスやその対処法などについてお話し、安心感・安全感を築きました。

また、災害対応や避難所運営等で絶え間ないストレスや緊張状態にある自治体職員等の皆さんに対し支援者支援も実施しました。

なお、こころのケア活動は、地元医療機関や保健師などでの対応が可能となったことから、10月12日をもって終了しました。



避難所の巡回診療を行うこころのケア班（安平町）



避難所巡回前こころのケア調整班と打合せを行うこころのケア班



リフレッシュルームでのハンドケア（むかわ町）

こころのケア班派遣施設一覧

支 部	施 設	支 部	施 設	支 部	施 設		
北海道	旭川赤十字病院(※)	北海道	小清水赤十字病院	秋 田	秋田赤十字病院		
	北見赤十字病院		函館赤十字病院	山 形	日本海総合病院		
	伊達赤十字病院		伊達赤十字看護専門学校(◎)		北村山公立病院		
	釧路赤十字病院(※)		日赤北海道看護大学(◎)	福 島	県立中央病院		
	浦河赤十字病院		青 森		八戸赤十字病院	福島県支部(◎)	
	栗山赤十字病院		岩 手	盛岡赤十字病院(※)	福島赤十字病院		
	清水赤十字病院(※)		宮 城	仙台赤十字病院	栃 木	足利赤十字病院	
	鹿戸赤十字病院			石巻赤十字病院(※)	山 梨	山梨赤十字病院	
				本 社	日赤医療センター(◎)		

(※)は、こころのケア調整班の派遣を含む (◎)は、こころのケア調整班のみ派遣

一定額以上の寄付(会費、寄付金)をいただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます

5

赤十字ボランティアの活動（活動した赤十字ボランティア：659人）

発災直後より赤十字ボランティアが全道各地で活躍しました。

被害の大きかった厚真町・安平町では、防災ボランティアによる救援物資の配分支援のほか、北海道ノルディックウォーキング赤十字奉仕団はエコノミークラス症候群の予防のため、避難所で被災者とポールストレッチングやノルディックウォーキングを行いました。

さらに、大規模停電により開設された避難所で地域奉仕団による炊き出し支援、配食支援、義援金の街頭受付など、各奉仕団の特色を生かし被災者に寄り添った活動が全道各地で行われました。

赤十字ボランティア活動状況（11月30日現在）

奉仕団名	活動内容
札幌市赤十字奉仕団	炊き出し・食料配布(市内)、義援金募集
札幌市水上安全赤十字奉仕団	炊き出し(北海道支部)
札幌市青年赤十字奉仕団	こころのケア班補助
函館市75347赤十字奉仕団	義援金募集
岩見沢市赤十字奉仕団	炊き出し支援(厚真町)
網走市赤十字奉仕団	義援金募集
苫小牧市赤十字奉仕団	炊き出し支援(厚真町)
苫小牧市救急法赤十字奉仕団	待合室整理、戸別訪問、災害ゴミ搬出(安平町・むかわ町)
苫小牧市S-N I-R赤十字奉仕団	断水地区への給水支援、義援金募集
苫小牧市無縁赤十字奉仕団	義援金募集
苫小牧市海上赤十字奉仕団	義援金募集
札幌市赤十字奉仕団	義援金募集
美瑛市赤十字奉仕団	炊き出し(市内)、義援金募集
上川市無縁赤十字奉仕団	災害対策本部への通信機器支援
滝川市赤十字奉仕団	配給支援(市内)
深川市赤十字奉仕団	炊き出し支援(厚真町)
伊達市赤十字奉仕団	炊き出し(安平町・厚真町)、義援金募集
北広島市赤十字奉仕団	市内避難所給水作業等協力、炊き出し、義援金募集
北広島市無縁赤十字奉仕団	被災住宅のゴミ出し
南幌町赤十字奉仕団	炊き出し支援(厚真町)
長沼町赤十字奉仕団	炊き出し支援(厚真町)
沼田町赤十字奉仕団	寄り添い(高齢者)ケア、炊き出し支援(厚真町)
善茂別町赤十字奉仕団	義援金募集
倶知安町赤十字奉仕団	義援金募集
洞爺湖町赤十字奉仕団	炊き出し(町内)
白老町赤十字奉仕団	炊き出し支援(厚真町)
門別婦人赤十字奉仕団	炊き出し(町内)
福島町赤十字奉仕団	炊き出し(町内)
長万部町赤十字奉仕団	義援金募集
上富良野町赤十字奉仕団	炊き出し(町内)、義援金募集
占冠村赤十字奉仕団	義援金募集
枝幸町赤十字奉仕団	炊き出し(町内)、義援金募集
豊富町赤十字奉仕団	炊き出し(町内)
小清水町赤十字奉仕団	炊き出し(町内)
訓子府町赤十字奉仕団	義援金募集
菅野町赤十字奉仕団	義援金募集
別海町西別赤十字奉仕団	義援金募集
別海町上西春別赤十字奉仕団	義援金募集
北海道ノルディックウォーキング赤十字奉仕団	避難所でのエコノミークラス症候群予防、ノルディックウォーキング(厚真町)
防災ボランティア	救援物資配分支援(安平町)



救援物資配分支援を行う防災ボランティア（安平町）



ポールストレッチングによるエコノミークラス症候群予防を行う北海道ノルディックウォーキング赤十字奉仕団(厚真町)



義援金の街頭募集を行う札幌市赤十字奉仕団

皆さまの継続的なご支援が赤十字の活動を支えています

6

数字で見る北海道胆振東部地震での活動



救護班：43班(延べ296人)

※日赤DMATの活動(10班)含まず



災害医療コーディネーターチーム：13班

本社・第1ブロック支援要員：延べ22人

現地災対本部要員：延べ38人



こころのケア班：29班(延べ87人)

こころのケア調整班：10班(延べ20人)



毛布配付数

1,440枚



安眠セット配付数

1,924セット



緊急セット配付数

510セット



弾性ストッキング配付数

200セット



活動した赤十字ボランティア

(救援物資配付支援、炊き出し支援、義援金募集活動 ほか)

659人



義援金受付状況(11月30日現在 日本赤十字社受付分のみ)

34億4,491万6,804円

送金状況(11月30日現在)

19億1,111万2,347円を

北海道災害義援金配分委員会へ送金

預金口座振替(自動引き落とし)により毎年継続して寄付をすることができます

皆さまのご支援に感謝申し上げます

日本赤十字社は北海道胆振東部地震発生直後から救護員を派遣し医療救護活動やこころのケアなど、被災者に寄り添う活動を行っています。

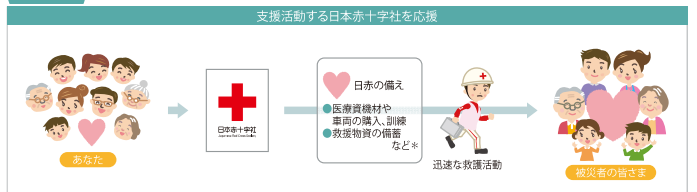
被災地で直接いただく「ありがとう」の言葉は、日赤の活動を支援くださる皆さまへの言葉です。

今後も活動を通じて、皆さまの温かいお気持ちを被災地に届けてまいります。

被災者に届ける2つの支援 あなたの気持ちが、誰かを支える大きな支援につながります。

活動資金

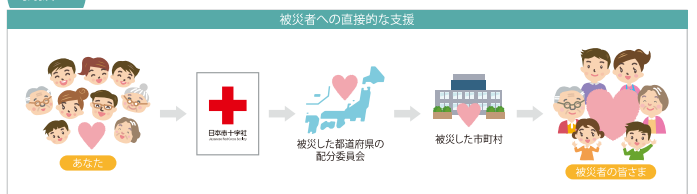
日赤の活動を通じて被災者を支えます。北海道胆振東部地震では、医療救護活動・こころのケア・救援物資配付などを実施。



*そのほか、炊き出しなどボランティア活動の支援、青少年への防災教育、救急法や幼児安全法の講義、途上国への開発支援などに使用されます

義援金

全額を被災された皆さまにお届けします。



たくさんのご協力ありがとうございました。

～活動資金にご協力いただき、表彰された方々をご紹介します～ (敬称略)

金色有功章 ～社資納入額50万円以上～

【北見市】 株式会社 坂口精肉店
 【北見市】 小田 忠美子
 【根室市】 志和 秀春
 【大空町】 近藤 勇

社長感謝状 ～金色有功章受章後さらに50万円以上～

【北見市】 北一食品株式会社
 【支 部】 北海道商事株式会社
 【支 部】 中村 裕貴

銀色有功章 ～社資納入額20万円以上～

【北見市】 株式会社 サン園芸
 【支 部】 株式会社 クワザ北海道安全衛生協会の

【支 部】 大和ステンレス工業株式会社
 【支 部】 医療法人 慈寿会
 【支 部】 有限会社 アウルメディカル
 【支 部】 株式会社 ツルホールディングス

発行日 平成30年12月1日

発行元 日本赤十字社 北海道支部

札幌市中央区北1条西5丁目 TEL:011-231-7126

公式facebookで情報発信中!
<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc>
 日赤北海道
<http://www.hokkaido.jrc.or.jp>